

# ダイワホールディングス株式会社

## 第112期 中間ビジネスレポート

2022年4月1日～2022年9月30日



あたりまえ、を支える



## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素からご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、中間ビジネスレポートをお届けするにあたりまして、一言ごあいさつ申し上げます。

ダイワボウホールディングス株式会社  
代表取締役社長

西村 幸浩



## 業績について

第112期(2023年3月期)第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動が徐々に正常化することで緩やかな景気回復がみられたものの、ウクライナ情勢の長期化、急速な円安の進行や原材料、エネルギーコストの高騰など先行きは依然として不透明な状況が続いております。このような状況のもと、当社グループは第111期からスタートさせた中期経営計画(2022年3月期～2024年3月期)において、本計画の対象期間を「将来にわたる発展を見据えた転換期」と捉え、グループ基本方針として「次世代成長ドライバーの創出」「リーディングカンパニーとして新たな社会作りへの貢献」「経営基盤変革」を掲げ、次なる時代に向けた成長戦略と事業を通じた社会貢献の実践による企業価値の向上に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は4,092億46百万円(前年同期比16.7%増)、営業利益は109億63百万円(前年同期比11.8%増)、経常利益は112億12百万円(前年同期比13.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は76億70百万円(前年同期比9.3%増)となりました。

## 今後の見通しと取り組み

2023年3月期の見通しといたしまして、当社グループは、次なる成長の原動力を生み出し新たな飛躍につなげるため、ビジネスモデル変革への挑戦、ESG視点による事業を通じた社会課題解決への貢献をめざし、今後、更なる拡大が期待されるクラウドビジネスをはじめとした成長市場における需要を的確に獲得することで、売上高8,300億円、営業利益273億60百万円を計画しております。

当社は、8月に本社事務所を移転いたしました。新たな拠点で、将来的な体制に対応するためのオフィス機能強化、デジタル化促進による業務効率の向上を図ると同時に、売上高・利益の約9割を占めるダイワボウ情報システム(DIS)との経営戦略・財務面での連携を強化するためDIS本社と同じビルに入居することで各活動を加速してまいります。あわせて、当社事業を取り巻く市場動向としては、社会全体の生産性向上を図るべくデジタル化が益々加速しており、日常の暮らしやビジネスの「あたりまえ、を支える」企業グループとして、時代の潮流を捉えたビジネス展開を強化することで、持続的成長につなげてまいります。

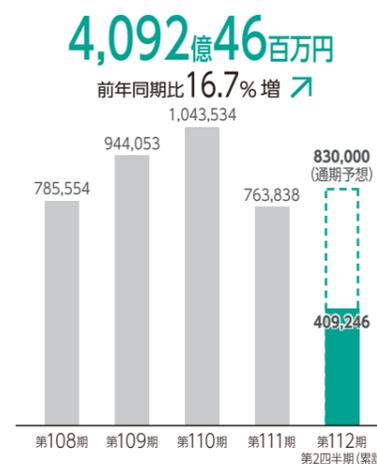
また、各事業を評価する重要な指標として、投下資本に対する利益率を表すROICを日頃から強く意識することについて、グループ各社の経営層とあらためて共有いたしました。KPI(重要業績評価指標)に基づくモニタリングや、投資に対する効果測定を徹底し、資本効率を重視したグループ戦略を浸透させてまいります。

そして上場企業としての役割として、取締役に対する業績連動型株式報酬制度の導入や継続的な自己株式取得など、株主価値向上に資する取り組みを進めております。株主様への還元につきましては、継続的かつ安定的な利益還元を基本方針に掲げ、中間配当を実施しており、2023年3月期中間配当金は、1株当たり30円とさせていただきます。

最後に、当社は持続的な成長と企業価値向上を実現するために、ガバナンス体制の強化およびグループ経営戦略の推進に注力してまいります。株主の皆様には引き続き倍旧のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

## 連結業績ハイライト

売上高 (百万円)



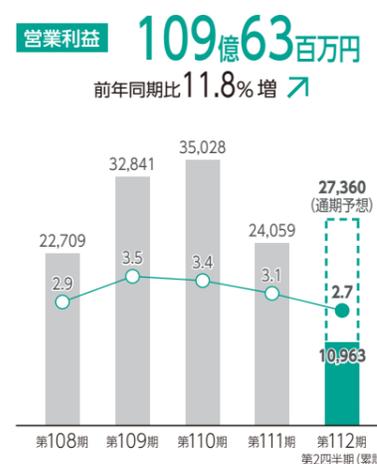
※「収益認識に関する会計基準」等を第111期から適用しており、当第2四半期連結累計期間の影響額は△270億18百万円となっております。

総資産 純資産 (百万円)

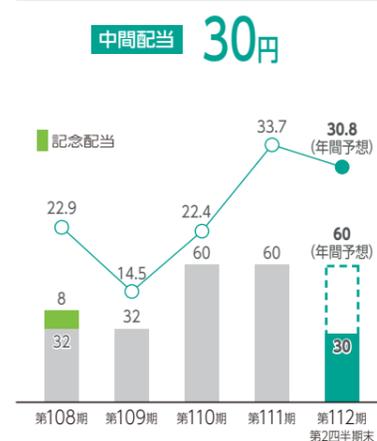
自己資本比率 (%)



営業利益 (百万円) 営業利益率 (%)

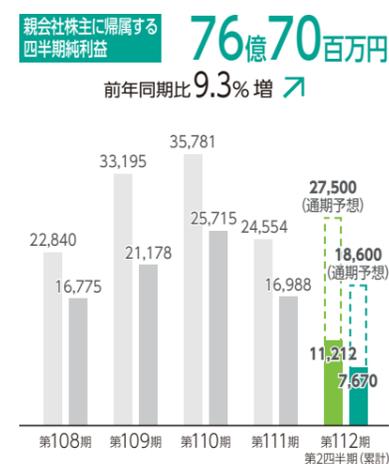


配当金 (円) 配当性向 (%)



※1株当たり配当金は株式分割(2021年4月1日)を過年度に遡及して表示しております。

経常利益 (百万円)  
親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)



自己株式の取得状況

	第111期	第112期 (通期予想)
自己株式取得	約20億円 (2021/5/14～8/31)	約30億円 (2022/5/13～10/31)
総還元性向	45.4%	46.2%

PBR(株価純資産倍率) 1.25倍

※2022年9月30日終値に基づいて算出。

## TOPICS

### TCFD提言への賛同を表明

2022年4月に、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言への賛同を表明いたしました。当社は気候変動リスク管理体制のもと、事業毎の気候変動リスクと機会を洗い出し、想定される主な取り組みを開示しております。今後も、企業としてのレジリエンス(強靭性)を高めるとともに、気候変動が事業にもたらす「リスク」および「機会」について、ステークホルダーの皆様へより分かりやすくお伝えできるよう、ガバナンス、戦略、リスク管理、指標と目標の観点から、TCFD提言に基づく情報開示に努めてまいります。

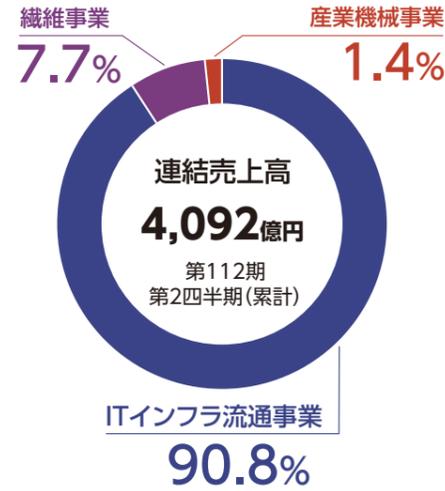
### 未来の教育発展のため、STEAM教育環境を積極支援

ダイワボウ情報システム(DIS)は、ITを通じた社会貢献への取り組みの一環として、STEAM教育(数学、科学、技術、モノづくりや芸術の領域などを重視し、文理を横断した創造的教育)環境の支援・推進を行っております。日本経済新聞社大阪本社主催の「日経STEAM2022シンポジウム」へ特別協賛し、学生がDISのビジネス企画部門への疑似的入社をして事業企画するゼミや、STEAM教育を支援するソリューションをシンポジウムで出展するなど、PR活動を実施いたしました。DISは子供たちの未来の活躍に向けて、より良い教育環境を提供するための活動を推進いたします。

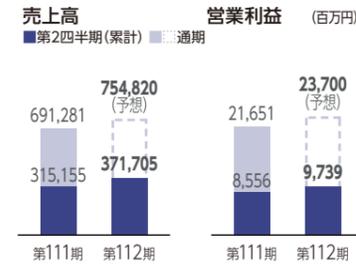


# 事業別概況

ITインフラ流通事業	ディストリビューション	ダイワボウ情報システム(株)	
	サービス&ソリューション	ディーアイエスサービス&ソリューション(株)	
繊維事業	合繊・レーヨン	ダイワボウレーヨン(株)	
	産業資材	大和紡績(株)	
	衣料製品	カンボウプラス(株) ダイワボウアドバンス(株)	
産業機械事業	工作機械	(株)オーエム製作所	
	自動機械	(株)オーエム機械	
	鑄造・加工・組立	オーエム金属工業(株)	

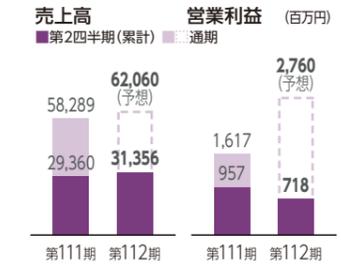


## ITインフラ流通事業



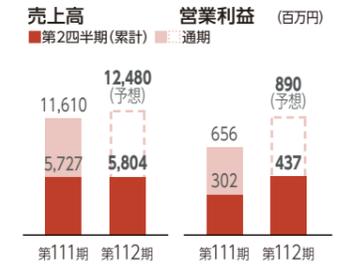
企業・官公庁向けは、半導体不足に起因した納期遅延や原価上昇の影響を受けましたが、当社在庫品への切替提案を強化することで販売は増加し、サブスクリプション製品も好調に推移いたしました。文教向けにおいても高校の生徒用端末や小中学校の教職員用端末の需要が拡大し、前年実績を上回りました。コンシューマ向け市場では、個人消費の低迷により、売上高は前年と同水準となりました。

## 繊維事業



環境負荷の少ないレーヨン等は販売が増加したものの、事業全般で原燃料高や円安によるコストアップの影響を受けたことで、利益面で苦戦いたしました。

## 産業機械事業



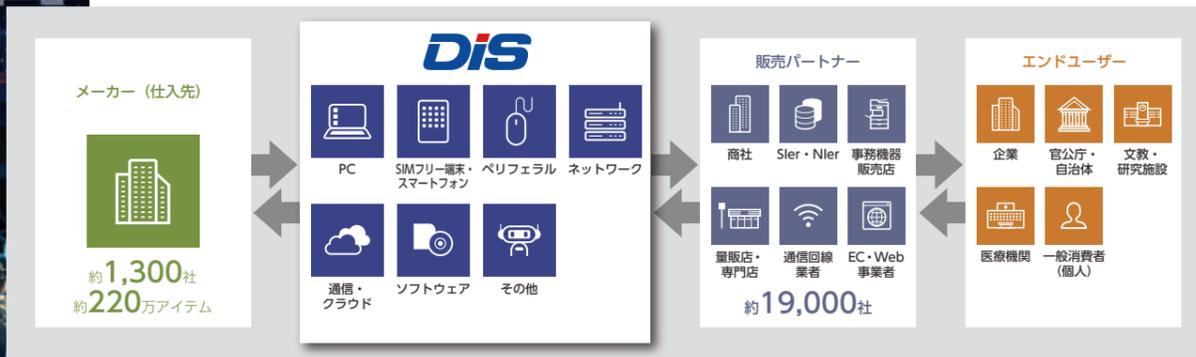
風力発電をはじめとするエネルギー業界や半導体、建設機械、医療機器等の幅広い業界への出荷やサービス売上の増加により、増収増益となりました。

## ITインフラ流通事業

### 国内最大級のディストリビューターとしてIT環境をトータルにサポート

ITインフラ流通事業は、ダイワボウ情報システム(DIS)グループが運営する事業です。DISは独立系マルチベンダーとして、お客様のニーズに合わせて最適なソリューションを提案し、世界中のIT関連商品・サービスを最適な組み合わせでご提供しています。どの地域のお客様にもFace to Faceできめ細やかに対応できるよう、日本国内をカ

バーする営業拠点と物流拠点を展開。全国の販売パートナーを通じて、民間企業や官公庁・自治体、学校、医療機関、一般消費者など、幅広く利用されるIT関連商品をお届けします。時代の変化に即応しながら、万全のサービス&サポートで、多様化・高度化するニーズに応え続けていきます。



#### 事業を通じた社会課題解決への貢献機会

- 全国の営業拠点網によるIT化推進の取り組み
- 教育の情報化に向けた取り組み
- サブスクリプション管理ポータル「iKAZUCHI(雷)」での新たなビジネス共創の場の提供



「iKAZUCHI(雷)掲載サービス」  
100ベンダー/197サービス  
(2022年9月現在)

「iKAZUCHI(雷)」は、DISが提供するサブスクリプション管理ポータルです。サブスクリプション型(継続課金型)ビジネスは、導入コストを抑えて、最新のサービスを必要な分だけ利用できるため、幅広い分野で普及・拡大が見込まれています。販売パートナーは「iKAZUCHI(雷)」を利用することで、クラウドサービスを中心としたサブスクリプションビジネスにおける注文工数が削減され、年額・月額・従量制などのさまざまな継続型契約や、ユーザー情報の一元管理が可能になります。



## 繊維事業

### 衣料・生活用品から産業資材まで高付加価値を追求する繊維メーカー

素材としての用途の広がりや循環型社会への対応など、多様な可能性を持つ繊維の事業フィールドで、研究開発に力を入れ、サステナビリティに配慮した素材や機能性・独自性のある素材を活かした高付加価値な商品を生み出しています。衣料品のほか、紙おむつの材料といった生活資材から建設現場の防水シートなど産業資材まで取り扱い分野は幅広く、その提供形態も原綿や不織布、最終製品まで多岐にわたります。

#### 事業を通じた社会課題解決への貢献機会

- 生分解性繊維など環境負荷低減に貢献する商品開発
- 機能性商品の原料を、環境負荷軽減素材やリサイクル素材へ置き換えるなど、「機能性+サステナブル」の両立ができる商品開発



## 産業機械事業

### あらゆる業界の製造機械に変革をもたらす「匠の精鋭技術集団」

航空・宇宙分野をはじめ、あらゆる産業のマザーマシンとして活躍し、長年にわたる技術・技能の伝承により厚い信頼を得ている「立旋盤」や、鉄道の安全と乗り心地を支える「車輪旋盤」などの工作機械と、食品や製薬などの幅広い業界で活躍する自動包装機を主に製造販売しています。時代を先取りし、独創性を持って、高い技術力が生み出す高精度な機械を提供することで、多様化するユーザーニーズに確実に応えていきます。

#### 事業を通じた社会課題解決への貢献機会

- 航空機エンジンやエネルギー分野向け、鉄道車輪メンテナンス用の工作機械などを通じてモノづくりの技術と品質を提供



## 会社概要

(2022年9月30日現在)

社名 ダイワボウホールディングス株式会社  
資本金 216億9,674万4,900円  
設立日 1941年(昭和16年)4月1日  
本社 大阪市北区中之島3丁目2番4号  
中之島フェスティバルタワー・ウエスト  
連結従業員数 5,795名

## 役員

(2022年9月30日現在)

### 取締役



代表取締役社長  
西村 幸浩



取締役  
安田 充成



取締役  
猪狩 司



社外  
取締役  
土肥 謙一



社外  
取締役  
中村 一幸



社外  
取締役  
吉丸 由紀子



社外  
取締役  
藤木 貴子

### 監査役



常勤監査役  
小野 正也



社外  
監査役  
藤木 久



社外  
監査役  
植田 益司

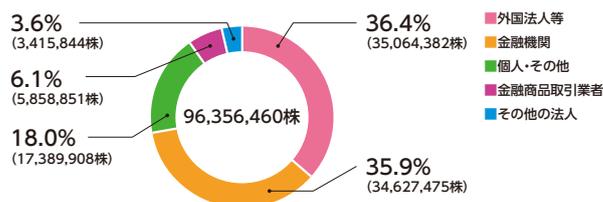
## 株式の状況

(2022年9月30日現在)

発行可能株式総数	発行済株式の総数	株主数
200,000,000株	96,356,460株	10,355名

(注) 発行済株式の総数のうち2,670,935株を自己株式として保有しております。

### 所有者別株式分布状況



### 株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日  
基準日 毎年3月31日  
定時株主総会 毎年6月  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関  
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502  
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
☎ 0120-094-777 (通話料無料)  
上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場  
公告の方法 電子公告により行う  
公告掲載URL  
<https://www.daiwabo-holdings.com/>  
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

### ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取扱いいたします。

### 会社案内ビデオ



### グループ広報誌 DAIWABO HOLDINGS Digest



### Corporate Profile 2022



各詳細につきましては、当社ウェブサイトをご覧ください。  
<https://www.daiwabo-holdings.com/>

### IR・投資家情報

個人株主・投資家の皆様へ  
中期経営計画/業績・財務/IRライブラリ/株式情報/IRカレンダー  
よくあるご質問/電子公告

### サステナビリティ

トップメッセージ/ESG推進体制  
環境活動/社会活動/ガバナンス/マテリアリティ (重要課題)  
ISO取得状況/ESGデータ

### 事業紹介

ITインフラ流通事業/繊維事業/産業機械事業

### 会社情報

ご挨拶/グループ理念体系/会社概要/役員一覧/沿革  
グループ広報誌/広報・企業広告ライブラリ

